

ガンコ親父の

マツジローという王様には一人息子である小柄な王子がいた。王子は身体が弱く、ネガティブな心持ちなのが王様の悩みだった。王子には将来を見据えてジョギングを始めるように言い渡していた。足が小さい王子のためのサイズ選びにと、召使いが女性用のジョギングシューズを二足持ってきた。「えっ、こんな靴、二足も履くなんて苦痛（靴2）だよな、なあんちゃって」と王子は出来の悪い駄洒落を召使いに浴びせた。

王様は婚期を迎えていた王子の「姫選び」にと、国中に舞踏会のおふれを出していた。将来のお妃候補になれるチャンスだと、国中が沸き立った。シンデレラの継母は二人の娘の参加資格を確認し、早速舞踏会に応募した。

三女のシンデレラは継母から留守番を言いつけられて、ひとり唇を噛んだ。しかし世の中よくできているもので、それを見ていた神様がシンデレラの舞踏会に行きたい気持ちにバックアップしてくれた。ドレスや靴はもちろん、かぼちゃから化けさせた送迎車まで用意してくれたのだ。ただし、午前0時になったらその魔法の効力が消えるからと、忠告を加えた。

舞踏会の当日、継母は自分の二人の娘が王子の目を引くようにと、色々と策を凝らしたが、王子が踊りの手を差し出したのはシンデレラだった。「えっ、どうして？ 留守番を命じていたはずなのに」と継母は目を疑った。

夢のような時間を過ごせたシンデレラだった。しかし神様の忠告を寸前で思い出し、慌てて帰宅しようと駆け出した。

廊下の先で転倒してしまったシンデレラは頭を打ち気が遠くなった。「あっ、誰か死んでれら」とちよつとそこに通りかかった王様の召使いが叫んだ。騒ぎを聞きつけ、王様と王子もやってきた。

不運にもちよつとその時に午前0時の鐘が鳴り響いた。無惨にもシンデレラの美しいドレスは薄汚れたワンピースに変わり、靴も藁で編んだ貧者の履き物に変わった。それを見ていた継母は「こんな汚らわしい術を使う女がいるなんて、とんでもないことだわ」と蔑みの声を撒き散らしたが、周りの王様たちは冷静だった。

王様はシンデレラの健康的な足を見た途端に直感が働いたのだ。ジョギングを嫌がっている王子も、踊りも上手だったこの娘となら一緒に走ってくれるだろう。召使いに命じてシンデレラの足にジョギングシューズを履かせてみた。ピタリとフィットした不思議な感覚にシンデレラは目を覚まし、王様は安堵した。

王様は王子に「この娘で良いか？」と尋ねた。王子は満面の笑みで首を縦に振った。よし、結婚式の準備じゃ。お祝い用に、早速、日本から『しまっちゅ伝蔵』を買ってきなさい。マツ

ジロー王はすこぶるごきげんであった。

シンデレラの義母は最後の賭けにも失敗していた。王子がガラスの靴の持ち主を探さるうと思ひ、舞踏会場に転がしておいたが、その長女のガラスの靴は不審物として衛兵によって勝手に処分されていたそうだ。ふふっ、悪い策略など成功しない。



しまっちゅ伝蔵
奄美黒糖焼酎
でん
ぞう

常圧蒸留

昔ながらの手造り
こだわり焼酎

喜界島の肥沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokoroのある味と香りです。



900ml (25度) 1800ml (25度) 1800ml (25度)

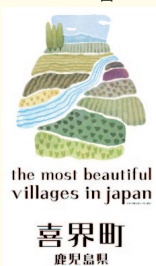


喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12
TEL 0997(65)0251



25度
好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造(株)はこの活動を応援しています。



「靴物語」に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp>

お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。